

知内川下流 (松前郡福島町)

見延 誠一

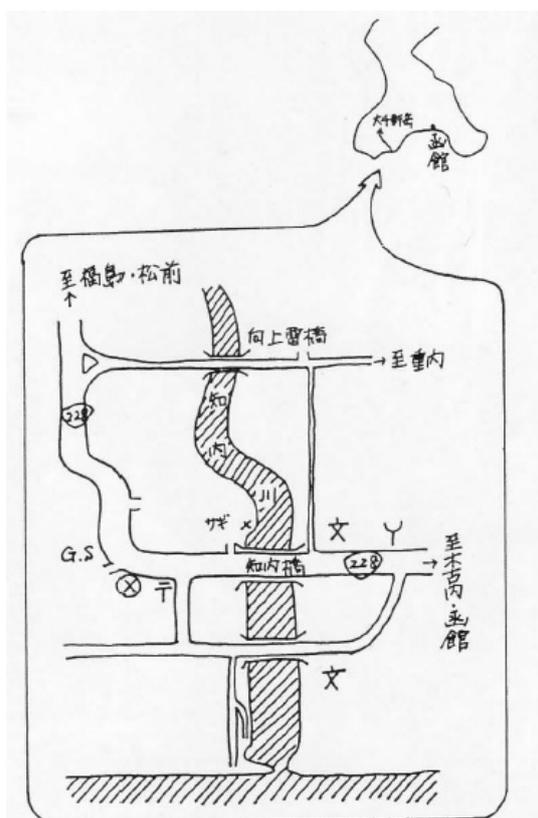
前任校の千軒小学校の頃、鳥に魅せられ授業の始まる前などにもよく通った、知内川を紹介します。

函館から国道 228 号線を西へ車で 1 時間程行き、知内町の消防署を右手に通り過ぎたところに、知内橋があります。この橋から知内川上流を眺めると左手の川岸にコサギやチュウサギなどのサギがエサをついばんだり、飾り羽を見せびらかしている風景に出会います。(4月下旬～6月上旬、9月) また、9月上旬頃には、ミサゴが上空を優雅に飛翔し豪快なダイビングをして見せてくれます。

河口付近にはもう一つ橋があり、そこから堤防まで続く小道があります。ここでは、コヨシキリ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン等草原の鳥や、春秋の渡りの時期にはツグミ、カシラダカ、冬にはベニヒワ等が見られ、川には、カイツブリ、アカエリカイツブリ、カモ類、カモメ類、ハマシギ等のシギチも見られます。また、それらを狙ってかちょうゲンボウ等を見かけることもあります。この小道の下に用水路があり、カワセミがエサをとりにきます。62年11月30日にはタゲリがミューと鳴いて飛んで来てエサをついばんでいました。

この堤防から、冬、津軽海峡を臨むとアビ、ミミカイツブリ、海ガモ類、ウミアイサ、コクガンも見られます。

先程の知内川から上流へ行ったところに向上雷橋があります。この橋から川を眺めると、きまってコチドリがびっくりして飛んで行きます。ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイも同じところに見られ、追いかけても見られます。トウネン、アオアシシギ等も少数



知内川下流の探鳥地

ですが見られ、他に、カワガラス、アオサギ、またホオアカ、モズ、オオヨシキリ、オオジシギ等も見られます。

ここからさらに上流の千軒まで行くと森林の鳥が楽しめますが、それは千軒小中学校の子ども達の観察報告を楽しみにして今回はこの辺で終わります。時間がありましたら、大千軒岳の登山もお試してください。帰りには、湯の里の温泉で登山の疲れをいやしてはどうですか。